

施策	7302 男女共同参画の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	性別による固定的な役割分担意識の解消や、女性が一層活躍できる環境づくりに向け、「市男女共同参画プラン」に基づき、ワーク・ライフ・バランスの普及促進、男女共同参画の理解を促す研修・講座等の実施、女性の登用・採用等の取組に対する企業・各種団体への働きかけ等を図る。							
成果指標	研修会等出席者数...2022年度目標 860人（現状値811人）							
目標達成状況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	成果指標1 [人]	予定	820.00	830.00	840.00	850.00	860.00	
		実績	1,318.00	779.00				
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	予定						
		実績						
	成果指標4 []	予定						
		実績						
	トータルコスト (千円)	予定	23,024	17,650	17,774	0	0	
実績		17,591	17,635	17,774	0	0		
内部評価	貢献度	研修会等を通じ男女共同参画の意識を高めることが必要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	研修会出席者数の目標値830人には、若干届かなかった。						
	課題	講座や研修会の開催方法やPRの仕方などを工夫し、男女共同参画に取り組む団体との連携を図り、事業を進める必要がある。						
	取組方針	幅広い年齢層の方に「男女共同参画社会づくり」を推進するため、講座やつどい等内容を検討しつつ、出前講座の開催回数の増加に取り組む。						
外部評価								
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	106101	男女共同参画推進事業費				13,720	93	
	106201	男女共生大学開催事業費				3,845	82	
	625101	市費負担教職員人件費 7人					0	

単位施策評価表 補表

施策	7302 男女共同参画の推進		
区分	妥当性	妥当	男女共同参画の推進施策の実施は、市の男女共同参画推進条例で「市の責務」とされている。
	コスト削減の余地	無	コストの削減にはかなり取り組んでおり、削減は厳しい状況である。
	受益者負担	適正	受益者は、男女共生大学の受講料(全7回で、1,000円)のみで、額は適正である。
	上位貢献度	有効	上位施策の実現には、研修会等による意識の啓発の積み重ねが重要であるため有効である。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	幅広い年齢層の方に「男女共同参画」意識を啓発するため、講座やつどい等の内容を検討する。
内部評価	貢献度	研修会等を通じ男女共同参画の意識を高めることが必要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	研修会出席者数の目標値830人に、若干届かなかった。	
	課題	講座や研修会の開催方法やPRの仕方などを工夫し、男女共同参画に取り組む団体との連携を図り、事業を進める必要がある。	
	取組方針	幅広い年齢層の方に「男女共同参画社会づくり」を推進するため、講座やつどい等内容を検討しつつ、出前講座の開催回数増加に取り組む。	